



学校だより

児童数：627名（男：341名 女：286名）

学校教育目標 ◎かしこく ◎なかよく ◎たくましく ◎心ゆたかに

秋
の
味
覚
栗

未来に向けて・・・子どもの学力をつける・・・

校長 戸野塚 晃



日が暮れると、僅かながら秋の気配を感じます。虫の声、風の音、月明かり、草木のかすれる音・・・少しずつではありますが、あの信じられない夏の暑さから暦が進んでいきます。10月は秋の校外学習や宿泊学習が多く計画されています。目的地の先々で季節を感じることができることを願っています。

さて、本校では1週間ほど前に、教育委員会からの指導者をお招きして、さいたま市教育委員会指導訪問が行われました。これは、現在の学習状況や今後の学校としての学習課題に対してそれぞれの教科で専門の立場の指導者から指導・助言をいただく取組です。ちなみに本校の学校全体として取り組んでいる学習課題は以下のものになります。

本校の校内課題研修

自分の考えをもち、進んで表現できる児童の育成

～それぞれの個性や能力を生かし、学びを深めることのできる児童の育成を目指して～

当日は、国語、社会、生活科、音楽、GSの五つの教科を中心に、全ての先生が授業を公開しました。また、放課後には協議会を設定し、指導者、参観の先生方も交えながら協議を重ね、指導者の皆さんからは、今後の本校の研修についての方向性を示唆していただきました。子どもたちの様子も落ち着いた学習環境の中、積極的に授業に参加する姿がみられ、ICT機器を活用しながら意欲的に学習に取り組むことができました。私も時間を調整しながら、多くの学級に足を運び、1学期より成長している姿に少し感心させられました。授業の様子を少しだけ紹介させていただきますと・・・

右の画像は、2年生の音楽の授業の様子です。グループに分かれて太鼓のリズム打ちをします。方法は、それぞれの児童が音符を表した画像をつなげてパソコンに映し出し、それに合わせて平太鼓を叩きます。掛け声を合わせ、みんなで協力して一つのリズムを完成させる様は、まるでゲームにある太鼓の達人のようでした。



左の画像はGSの授業の様子です。おすすめの文具セットを相手に伝えるように工夫しながら紹介したり、買い物のシュミレーションをしたりする内容です。英語という言葉でありながら、この時間だけは、当たり前の表情でキーワードを巧みに操り、上手に友達に紹介していきます。最後はおすすめの文具セットの完成です。

教科や進め方は違えど、二つの授業に共通しているのは相手を意識し、相手と協力したり、会話をしたりして授業を進めていくところです。そこには私の年代が学んできた知識量と暗記量に基準が置かれた授業スタイルはほとんど見られず、ICT機器を効果的に活用し、思考して、判断してから相手に伝えていくというコミュニケーションの基盤となる力の育成に重点が置かれています。それはまさに、泰平小の子どもたちが未来に生きるために必要な真の学力と言えるでしょう。歩む速度は一步一步ですが、泰平小学校全職員が力を合わせて試行錯誤しながら本校の課題解決のために今回のような授業改善に取り組んでいます。公開授業、授業参観、説明会等、来校される機会がありましたらぜひ、今回紹介したような視点で授業も参観していただけたら幸いです。

今後とも、保護者、地域の皆様とともに協力・協働していただきながら、進んで表現できる児童の育成を目指し教育活動を推進していく所存です。引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。